

国に向かって立ち上げれ

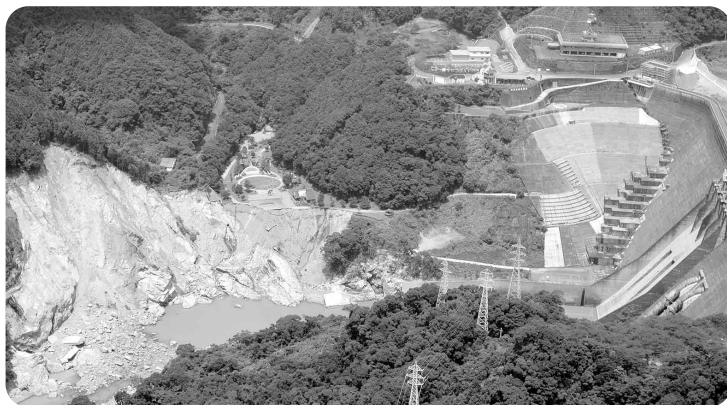
町長／災害に強い町づくりのため要望・要請



平田 昇議員

平田 治水力のないダムが生んだ被災者の生活を早く元に戻すため、町は国に対し全力をあげることを迫るときだ。町長の取り組みを質す。

町長 鶴田ダム洪水調節については計18回の洪水調節情報を受けました。記録的な降水量が川内川流域合わせて主要河川の前川、夜星川、穴川なども同時に水かさが増え、異常な増水と河川の氾濫を招き、甚大な被害を受けました。被災者、住民、議会と歩調を合わせ災害に強い町づくりのため、要望・要請活動を精力的に行います。



大規模な山崩れが発生した
鶴田ダム下流

大局を読み陣頭指揮を

町長／不退転の決意で取り組み

平田 国に対する町の行動には町民の一致、結束、団結が必須条件である。大局を読み陣頭指揮にあたる町長の決意を

町長 中流域の河川改修の遅れが顕著に現れ、今回の災害を引き起こしたと考えています。早期の復旧と復興、川内川の抜本的な改修に向けてあらゆる機会をとらえながら、町民の先頭に立つて、これを乗り切るため、不退転の決意でもって取り組んでまいります。

ダム操作の検証を専門家に

町長／国の責任において行うべき



麦田博稔議員

麦田 ダムの洪水調節は適正であったと国土交通省は言う。ダム操作記録を取り寄せ、町独自に専門家を頼んで検証すべきではないか伺う。

町長 ダムからの放流に關しては、ファックスで随時情報をもらっている。足りない分については、情報開示をしてもらい検証していきたいと思います。

専門家による検証に關しては、設置、管理責任者である国の責任において行うべきものと理解しているところです。

今後の災害対策は

町長／防災計画の大幅な見直し

麦田 100年に1回の水害を想定して作った洪水ハザードマップなどは役だったか。避難指示等を総括し、今後どのような活かしに行く考えか伺う。

町長 地域防災計画は、国土交通省のハザードマップによる計画高水位で2日間で425ミリの降雨量で100年に1回の水害を想定した計画や土砂災害警戒マップを基に作成しています。今回の大水害を受け、避難勧告、指示等の情報伝達のあり方など大幅な見直しをしなければならぬと思っています。



湯田製材所付近